【とうきょう すくわくプログラム活動報告書】

園名：すぎなみのぞみ保育園（4歳児クラス）
活動日時：2026.8.21

1， 活動テーマ

＜テーマ＞

『音』　出す、出さない
どんな音がする？
出さないようにするには？
音を出してみよう。よく聞いてみよう。

＜テーマ設定理由＞

身近な音ってどんな音かな？音がないとどうかな？音を出さないってどんな感じなんだろう。声を出さないで知らせるにはどうしたらいいかな？など小さな疑問をテーマにした。

2，活動スケジュール

身近なものを動かしてどんな音がするか聞く。音がしないように忍者になる。部屋に戻って思いっきり声をだして動いたり、楽器を鳴らす。

3，活動の為に準備した素材や道具、環境の設定

カメラ、キーボード、タブレット、カスタネット、スズ、ウッドブロック、タンバリン、メトロノーム　部屋を広くし、動きやすいようにする。楽器を自由に選べるようにする。

4，探究活動の実践

＜活動内容＞

座るときに椅子を動かしたときに出る音から話を広げていく。机も動かしてみる。音をしないようにするにはどうしたらいいか実際に椅子を動かしてみる。音をさせないってどんな感じ？っと子どもたちと話をし、忍者になり園内を探検する。声を出さずにいくため、知らせるときは動作や表情で伝える。部屋に戻ってからは音を出す動きをする。自分の好きな楽器を鳴らしたり、曲を聞いて好きな動きをする。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもが椅子に座るときに音がした。その音を聞いてほかの子どもも音を出して椅子を引いた。そこでいまどんな音がしたか聞いてみると『ぼこぼこした』『ギー』『わかんない』などの声があがる。次に机を保育者が引っ張って動かすと子どもたちは『うるさい』と言った。では、音を出さないってどんなふうにすればいいかなという会話からだんだんと、『忍者だ』『声をださない』となり、声を出さずに、動きも静かに音を出さずに園内を探検してみることにする。そのためにはなにか友だちに知らせるときには動作や表情で伝えるようにしていた。階段の上り下りも静かにすばやく忍者になりきっている姿みられた。またまわりの職員にも協力してもらうことで楽しみも増していた。友だちが話しそうになると首を振って合図を送り、『そうだった』と気づく姿もあった。部屋に戻ってからは音を出さない緊張から解放された姿が印象的だった。『またやりたい』と言った声を大きい声だった。その後、室内で大きな音を出して歩いてみる。キーボードで低音でゆっくりと音をだすと、大股で音を出して歩く。が、だんだんと走ることがたのしくなり、声をあげながら走る。（音も走りやすいものにする）曲を聞きながら好きな楽器を鳴らすことで、曲をよく聞いて合わせ、心地よさを味わう姿も見られた。





5，振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

日ごろ音に囲まれて生活している。
短い時間だが音をたてずに過ごす経験をすることで音を意識することができたことがよかった。
部屋に戻ってきてからの解放感も味わえていたと思う。
音を出す、出さないは体の使い方にあることに身近なことから気づけていけたらいいと考えている。
声を出すことの楽しさ、音を鳴らすことの楽しさ、そのなかからよく聞いて合わせるともっと楽しいこと、きれいな音になること、などあそびのなかで経験していくことができたらいいと思っている。子どもたちの会話からあそびも広がりその発想を取り入れてあそべることがとても楽しかった。